

縄瀬小学校便り



夢・笑顔・感謝 あふれる縄瀬小

第36号

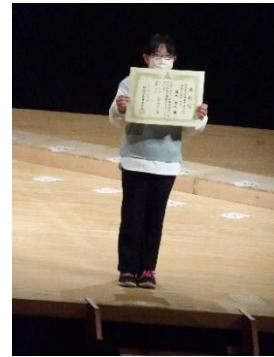
令和7年1月23日発
文責:校長

※ 縄瀬小にこの3つがあふれ、全ての人に幸せになってもらいたいという思いを込めています。

◎ 縄瀬小ホームページ [\[https://cms.miyazaki-c.ed.jp/1373/\]](https://cms.miyazaki-c.ed.jp/1373/) も、ぜひご覧ください。

★精励賞受賞！

1月16日(木)の午後、都城市教育委員会の精励賞の表彰式がありました。縄瀬小からは、6年生の福永寿咲さんが受賞しました。授賞理由は、「毎朝のボランティア活動を積極的に行い、学校中をきれいにしている。また、計画放送委員として、旗揚げや朝・昼の放送を欠かさずに行っている。夏休みにはラジオ番組に出演し縄瀬小学校を紹介するなど、学校の顔として活動する場面が多くみられた。さらに、11月9日(土)には、高崎町内の家族に関する作文で賞も受賞している」です。日頃からの寿咲さんの活動が認められた結果です。すばらしいですね。これを励みに、今後も益々、積極的に活動してほしいと思います。



★避難訓練(火災)！

1月17日(金)2校時に、避難訓練(火災)を行いました。放送での避難指示を聞いて、各学級でまとまって運動場に避難しました。ハンカチで口元を抑え、無言で素早く避難することができました。「お・は・し・も」もきちんと守りました。校長先生のお話では、30年前に起きた阪神・淡路大震災についての話の後、災害はいつどこで起きるか分からぬので、「自分の命は自分で守る」ことができるよう、今日の訓練を役立ててほしいとお願いしました。訓練を繰り返すことによっていろいろな場面を想定して、「自分の命は自分で守る」ことにつながってほしいと思います。



★複式授業の研究授業3・4年生！

児童数の減少に伴い、来年度は、5・6年も複式学級になる見込みです。それに備えて、理科や社会などは、AB年度といって、例えば5・6年生の2年間の学習内容を混ぜて半分ずつ行うことで、5・6年生が一緒に学習できるようにしています。しかし国語と算数に関しては、学年の順序性があり内容を入れ替えるのが難しいため、どうしても複式指導(その学年の内容を同じ時間に同じ教室で行う)となります。そこで、今回、教頭先生に3・4年生の算数を複式指導で行ってもらい、進め方の具体例や課題等について話し合いました。子どもたちがめあてや見通しをしっかりもち、意欲的に友達と協力して問題を解決し、学習内容を身に付ける力がなお一層求められます。子どもたちが主役の授業の実現によって複式指導もさらに効果的になると思います。来年度に向けて準備を進めていきます。



